

聞いてみました そろばん学習の楽しさ

見取り算が大好き

さかの あやね
坂野 綾音さん
(飯野小3年)

そろばんは、2年生から始めました。最初のころは、むずかしく感じたけど、教わっているうちにできるようになりました。今はみんなと楽しく学習しています。見取り算(足し算・引き算)がとくに好きです。



孫と一緒に楽しく学習

よしだ かずこ
吉田 和子さん(小峯)

現在、2級に挑戦中です。昨年からは小3の孫と一緒に自宅で学習しています。孫も4年生になり、5級に挑戦中で、徐々に追い上げられています(笑) それもまた、楽しみの1つであり、これからも一緒に続けていけたらと思います。



暗記力が上がった

つるた おとは
鶴田 乙葉さん
(益城中央小4年)

学校の部活をしながら週1回そろばん教室に通っています。9月が検定なので、がんばらなきゃと思っているけど、掛け算がむずかしいです。そろばんを始めてから暗記力が上がったと思います。



子どもたちとのふれあいが楽しみ

たみもと ともこ
民本 朋子さん(蛭子町)

講座を始める前は、すらすらできると思っていたのですが、実際は頭も手も思うように動かず、苦労しました。でも今は2級に挑戦中。放課後子ども教室で学校を訪問するようになり、子どもたちとふれあうのも楽しみの一つになりました。



そろばんで地域に貢献したい

さかぐち ふみよ
坂口 文代さん(寺中)

公民館講座でそろばんを受講し、放課後子ども教室で指導にあたっています。そろばんは集中力が必要なので、子どもたちにも落ち着きがみられます。これからはそろばんを通して、何らかの形で地域に貢献できればと思います。



見つめ直される
そろばん教育

パソコンや電卓がなかった時代にそろばんは、日々の経済活動を営むうえで必要不可欠な計算機として生活の中に浸透していました。

さまざまな形で人々の暮らしを支えてきたそろばんが、今また、学校や地域、家庭で見つめ直されています。

そろばんを学習することは、単に計算力・集中力を養うだけでなく、脳の働きを活発にすることが、科学的に立証されてきました。

さらに町内の小学校や公民館で開かれている教室では、そろばんを通じて世代を超えた関わりも生まれています。みなさんの家にも、家族の誰かが使っていたそろばんが、どこかに眠っていませんか。もし見つかったら、目の前に置いて、なつかしい感触を思い出してみてはいかがでしょう。時代を超えて活躍するそろばんは、今でもきつと「現役のはずです。」